2/5/1 (Item 1 from file: 351) DIALOG(R) File 351: DERWENT WPI (c) 2000 Derwent Info Ltd. All rts. reserv. **Image available** 011272371 WPI Acc No: 1997-250274/199723 XRPX Acc No: N97-206703 Scenario search processing method in risk analysis for financial institutions - involves calculating risk with index of maximum loss frame, creates data relating scenario with profit and loss and searches data with correspondence between scenario and loss frames Patent Assignee: HITACHI LTD (HITA) Number of Countries: 001 Number of Patents: 001 Patent Family: Patent No Kind Date Applicat No Kind Date Week (J́P **)**9081640 Α 19970328 JP 95239487 Α 19950919 199723 B Priority Applications (No Type Date): JP 95239487 A 19950919 Patent Details: Patent No Kind Lan Pg Main IPC Filing Notes JP 9081640 7 G06F-017/60 Abstract (Basic): JP 9081640 A The method involves risk analysis of property incorporating a derivative financial instrument. In the first processing step, the risk is evaluated and an index of the maximum loss frame exhibited on a statistical basis under conditions of constant probability during the possession period is calculated for each probability. The scenario is built up by assuming value of parameter impacting on the loss frame calculation with the interest of each period and exchange rate The profit and loss consequent to each transaction is reckoned for the possession period of property involving a derivative financial instrument. The second processing step relates the scenario with profit and loss frame expressed in terms of risk involved for each probability involved in the first step. The data collection indicating correspondence between scenario and profit and loss frame is located in the third processing step. The frames create the scenario which comprise of the profit and loss in the range of profit and loss frames in the second processing step. ADVANTAGE - Dispenses with trial and error attempts to obtain scenario for the actual loss frame described in terms of risk calculated. Dwg.1/15 Title Terms: SEARCH; PROCESS; METHOD; RISK; ANALYSE; FINANCIAL; INSTITUTION; CALCULATE; RISK; INDEX; MAXIMUM; LOSS; FRAME; DATA; RELATED; PROFIT; LOSS; SEARCH; DATA; CORRESPOND; LOSS; FRAME Derwent Class: T01 International Patent Class (Main): G06F-017/60 International Patent Class (Additional): G06F-017/30; G06F-019/00 File Segment: EPI 2/5/2 (Item 1 from file: 347) DIALOG(R) File 347: JAPIO (c) 2000 JPO & JAPIO. All rts. reserv. 05466840 **Image available** SCENARIO RETRIEVAL PROCESSING METHOD IN RISK ANALYSIS OF FINANCIAL ASSETS PUB. NO.: 09-081640 JP 9081640 March 28, 1997 (19970328) PUBLISHED:

INVENTOR(s):

APPLICANT(s): HITACHI LTD [000510] (A Japanese Company or Corporation), JP

(Japan)

NAKA ISAMU

August 14, 2000

14:16

APPL. NO.:

07-239487 [JP 95239487]

FILED:

September 19, 1995 (19950919)

INTL CLASS: [6] G06F-017/60; G06F-019/00; G06F-017/30

JAPIO CLASS: 45.4 (INFORMATION PROCESSING -- Computer Applications)

ABSTRACT

PROBLEM TO BE SOLVED: To retrieve a scenario for actualizing a maximum loss amount without putting burdens accompanying trials and errors by preparing data for indicating the correspondence of the plural scenarios set beforehand and profit-and-loss amounts.

SOLUTION: A value-at-risk calculation part 101 calculates a value at risk for each probability by a percent and stores it in a value-at-risk result storage part 114. In a scenario simulation calculation part 102, provided with assets data stored in a possessed assets data storage device 111 and scenario data stored in a scenario data storage device 113 are read and the profit and loss of an interest swap are calculated for the respective scenario data and stored in a scenario simulation result storage part 115. A scenario retrieval part 103 uses the set of the data and retrieves the scenario for actualizing a loss amount expressed by the value at risk calculated previously for financial assets under each probability.

(7)

MENU

SEARCH

INDEX

DETAIL

1/1



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number: 09081640

(43) Date of publication of application: 28.03.1997

(51)Int.CI.

G06F 17/60 G06F 19/00 G06F 17/30

(21)Application number: 07239487

(71)Applicant:

HITACHI LTD

(22)Date of filing: 19.09.1995

(72)Inventor:

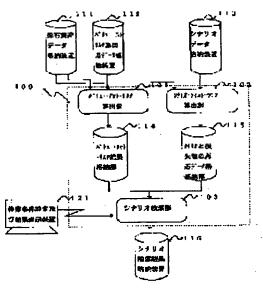
NAKA ISAMU

(54) SCENARIO RETRIEVAL PROCESSING METHOD IN RISK ANALYSIS OF FINANCIAL ASSETS

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To retrieve a scenario for actualizing a maximum loss amount without putting burdens accompanying trials and errors by preparing data for indicating the correspondence of the plural scenarios set beforehand and profit—and—loss amounts.

SOLUTION: A value—at—risk calculation part 101 calculates a value at risk for each probability by a percent and stores it in a value—at—risk result storage part 114. In a scenario simulation calculation part 102, provided with assets data stored in a possessed assets data storage device 111 and scenario data stored in a scenario data storage device 113 are read and the profit and loss of an interest swap are calculated for the respective scenario data and stored in a scenario simulation result storage part 115. A scenario retrieval part 103 uses the set of the



data and retrieves the scenario for actualizing a loss amount expressed by the value at risk calculated previously for financial assets under each probability.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

07.12.1999

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998 Japanese Patent Office

MENU

SEARCH

INDEX

DETAIL

(19)日本国特許庁 (JP) (12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出顯公開番号

特開平9-81640

(43)公開日 平成9年(1997)3月28日

(51) Int.Cl. ⁸		識別記号	庁内整理番号	FΙ			技術表示箇所
G06F	17/60	•		G06F	15/21	Z	
	19/00	' P			15/30	Z	
	17/30				15/40	370Z	

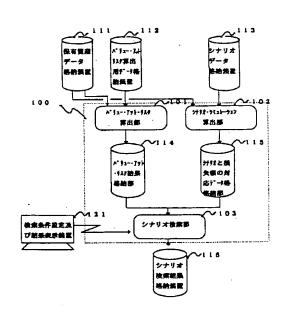
		家髓查書	未請求 請求項の数3 OL (全 7 頁)
(21) 出願番号	特顧平7-239487	(71) 出顧人	000005108 株式会社日立製作所
(22) 出顧日	平成7年(1995)9月19日	(72)発明者	東京都千代田区神田駿河台四丁目 6 番地 仲 勇 神奈川県川崎市幸区鹿島田890番地の12
		(74)代理人	株式会社日立製作所情報システム事業部内 弁理士 磯村 雅俊
	•		

(54) 【発明の名称】 金融資産のリスク分析におけるシナリオ検索処理方法

(57) 【要約】

【目的】 試行錯誤を必要とせずに、バリュー・アット ・リスクで表わされた損失額を顕在化させる将来のシナ リオを求めること。

【構成】 各確率のもとで金融派生商品を含む資産が保 有期間中に被る最大の損失額を統計的に表示した指標で あるバリュー・アット・リスクを算出し、予め設定して ある複数のシナリオを参照し、金融派生商品を含む保有 資産の保有期間中に取引毎に発生する損益額を算出し て、前記シナリオと損益額の対応を表わすデータを作成 し、前記データの集合を用いて、各確率のもとで先に算 出したバリュー・アット・リスクで表わされる損失額を 顕在化させるシナリオを検索することを特徴とするシナ リオ検索処理方法。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 金融派生商品を含む保有資産のリスクを 分析する方法であって、 金融派生商品を含む保有資産 が、保有期間中に一定の確率で被る最大の損失額を統計 的に表示した指標であるバリュー・アット・リスクを各 確率のもとで算出する第1の処理ステップと、

将来の各期間における金利、為替レートを含む資産の損失額算出に影響を与えるバラメータの仮定値からなる、 予め設定された複数のシナリオを参照して、金融派生商品を含む保有資産の保有期間中に取引毎に発生する損益 10 を算出し、前記シナリオと損益との対応を表わすデータを作成する第2の処理ステップと、

前記第1の処理ステップで算出された各確率のもとでの 金融派生商品を含む保有資産の、バリュー・アット・リスクによって表わされた損失額とたは利益額の属する損益額の範囲に属する損益を其現化するシナリオを、前記第2の処理ステップで作成したシナリオと損益額との対応を表わすデータの集合の中から検索する第3の処理ステップとを有することを特徴とする金融資産のリスク分析におけるシナリオ検索処理方法。

【請求項2】 前記第3の処理ステップにおけるシナリオ検索条件として、バリュー・アット・リスク算出に用いた確率の範囲を利用者が登録・変更可能としたことを特徴とする請求項1記載の金融資産のリスク分析におけるシナリオ検索処理方法。

【請求項3】 前記第3の処理ステップにおけるシナリオ検索結果として、確率の値と前記確率の値のもとでのバリュー・アット・リスクと、検索結果のシナリオ数と、前記シナリオを識別するシナリオ名と、同じく前記シナリオで具現化する損益とを一つの組み合わせとして 30表示することを特徴とする請求項1記載の資産のリスク分析におけるシナリオ検索処理方法。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】本発明は、金融資産のリスク分析におけるシナリオ検索処理方法に関し、より詳細には、金融機関または事業法人が保有する金融資産のリスク分析において、金融派生商品を含む資産のバリュー・アット・リスクで示された最大損失額を具現化する将来の事態または市場環境の変化を表わすシナリオを検索する方40法に関する。

[0002]

【従来の技術】従来、金融機関の金融派生商品を含む保有資産のリスク分析は、次のように行われていた。まず、「バリュー・アット・リスクの算出とリスク/リターン・シミュレーション」(日本銀行月報,1995.4)(p.13~18)の中で論じられているように、バリュー・アット・リスクと呼ばれる、保有期間中にポートフォリオに発生し得る最大損失額を統計的に表示したリスク指標を算出し、保有資産の期待収益や金融機関の自己資本と比較す 50

ることにより、金融機関が負っているリスク量の妥当性を判断する方法が知られていた。更に、「金融派生商品のリスク管理に関するガイドライン」(国際決裁銀行 バーゼル銀行監督委員会,1994.7)の中の(III リスク管理のプロセス)で論じられているように、金融機関に不利に作用するような事態あるいは市場環境の変化を具体的に特定し、そのような状況の下で金融機関がどの程度耐えられるかを把握するストレス・テストを行う方法も知られていた。

[0003]

20

【発明が解決しようとする課題】しかし、上述の従来技 術には、次のような問題がある。従来技術であるマトリ ックス法によるバリュー・アット・リスクの算出では、 バリュー・アット・リスクが、算出の前提となる確率分 布に従い一定の確率における標準偏差の倍数で表わされ た信頼区間,保有期間の平方根,資産の価値の変動の標 準偏差の積によって求められるため、具体的にどのよう な事態または市場環境の変化が、算出したバリュー・ア ット・リスクで表わされる最大損失額を顕在化させるの か把握できない。一方、従来技術であるストレス・テス トでは、ストレス・テストの実施者が想定する将来の各 期間における金利または為替レートを含む資産の損失額 算出に影響を与えるパラメータの仮定値からなるシナリ オを予め特定し、このシナリオを参照して、金融派生商 品を含む保有資産の保有期間中に取引毎に発生する損益 を算出するため、ストレス・テストを用いて算出した損 益について、前記損益算出に用いたシナリオに限っての み前記シナリオを参照することによって、将来の事態ま たは市場環境の変化を具体的に把握することができる。 このため、一定の確率における金融派生商品を含む資産 のバリュー・アット・リスクを顕在化させる将来の事態 または市場環境の変化を具体的に把握しようとする場 合、ストレス・テストの実施者が将来の事態または市場 環境の変化を想定し、前記事態または前記変化をシナリ オを設定して、前記シナリオを参照して利益額または損 失額を算出し、バリュー・アット・リスクで表わされる 損失額と比較し、適合しなければ再びシナリオを設定し 直してストレス・テストを実施するという試行錯誤を行 う必要があった。本発明は上記事情に鑑みてなされたも ので、その目的とするところは、従来の技術における上 述の如き問題を解消し、各確率のもとでの算出したバリ ュー・アット・リスクで表わされる最大損失額を顕在化 させるシナリオを、試行錯誤に伴う負担を負わせること なく検索可能とする、金融資産のリスク分析におけるシ ナリオ検索処理方法(以下、単に「シナリオ検索処理方 法」という)を提供することにある。

[0004]

【課題を解決するための手段】本発明の上記目的は、各確率のもとで金融派生商品を含む資産が保有期間中に被る最大の損失額を統計的に表示した指標であるバリュー

・アット・リスクを算出し、予め設定してある複数のシ ナリオを参照し、金融派生商品を含む保有資産の保有期 間中に取引毎に発生する損益額を算出して、前記シナリ オと前記損益額の対応を表わすデータを作成し、前記デ ータの集合の中から、各確率のもとで先に算出したバリ ユー・アット・リスクで表わされる損失額を顕在化させ るシナリオを検索することを特徴とするシナリオ検索処 理方法によって達成される。

[0005]

【作用】本発明に係るシナリオ検索処理方法において は、予め設定してある複数のシナリオを参照し、金融派 生商品を含む保有資産の保有期間中に取引毎に発生する 利益額または損失額を算出して、シナリオと前記利益額 または損失額の対となるデータを作成し、前記データの 集合を用いて、各確率のもとで前記金融資産について先 に算出したバリュー・アット・リスクで表わされる損失 額を顕在化させるシナリオを検索する。これにより、ス トレス・テストの実施者が、バリュー・アット・リスク で表わされる損失額を顕在化させる将来のシナリオを設 定し、前記シナリオを参照して利益額または損失額を算 20 出し、バリュー・アット・リスクで表わされる損失額と 比較し、適合しなければ再びシナリオを作り直して再び ストレス・テストを実施するという、試行錯誤に伴う作 業量を削減することができる。また、逆に、検索結果の 各確率毎のシナリオ件数の度数分布を見ることにより利 用者が保有するシナリオデータ群の傾向も把握すること ができる。

[0006]

【実施例】以下、本発明の実施例を図面に基づいてより 詳細に説明する。図1は、本発明の一実施例に係る金融 30 派生商品を含む資産のリスク分析におけるシナリオ検索 方法を適用したシステムのブロック構成図である。図1 において、100は金融派生商品を含む資産の保有デー タを入力し、各確率のもとでの金融派生商品を含む資産 のバリュー・アット・リスクを算出し、シナリオを参照 し、金融派生商品を含む保有資産の保有期間中に発生す る損益額を算出して、シナリオと前記損益額の対応を表 わすデータを作成し、前記データの集合を用いて、各確 率のもとで先に算出したバリュー・アット・リスクで表 わされる損失額を顕在化させるシナリオを検索するシナ 40 リオ検索装置であり、バリュー・アット・リスク算出部 101,シナリオ・シミュレーション算出部102,シ ナリオ検索部103を備えている。なお、101から1 03はそれぞれ割り当てられた処理機能を実行する中央 処理装置のプログラムによって実現する如く構成されて いる。

【0007】シナリオ検索装置100は、保有資産デー タ格納装置111, バリュー・アット・リスク算出用デ ータ格納装置112、シナリオデータ格納装置113、

・シミュレーション結果格納部115,シナリオ検索結 果格納装置116を備えている。また、検索条件設定お よび検索結果表示装置121を備えている。保有資産デ ータ格納装置111からシナリオ検索結果格納装置11 6までの各手段は、磁気テーブ記憶装置やハードディス ク等の記憶装置によって実現される。なお、121はC RTディスプレイおよびキーボードやマウス等で構成さ れる入出力装置により実現される。

【0008】上述の保有資産データ格納装置111に 10 は、図3に示す如く、金融商品種類301,収入キャッ シュフロー302および支出キャッシュフロー303な どの、金融商品を特徴づける項目からなる保有資産デー タ300が格納されている。なお、収入キャッシュフロ -302および支出キャッシュフロー303は、将来の フローが将来の特定時点における変動要因に依存してい る場合、変動要因を従属変数とするフローの算出式が格 納されている。

【0009】バリュー・アット・リスク算出用データ格 納装置112には、バリュー・アット・リスク算出に影 響を与える、図4に示す如き、リスクファクター間の相 関関係を表わすテーブルデータ400. 図5に示す如 き、リスクファクターの標準偏差を表わすテーブルデー タ500,図6に示す如き、リスクファクターの金融資 産価値に対する感応度であるBPV(BASIS POI NT VALUE)を表わすテーブルデータ600, 図7 に示す如き、確率分布に従い、確率51%から99%に おける標準偏差の倍数で表わされた信頼区間を表わすテ ーブルデータ700が格納されている。

【0010】以下、上述の如く構成された本実施例に係 るシステムにおいて、金融派生商品を含む資産のリスク 分析におけるシナリオ検索装置100の処理を、検索対 象の金融資産として 3年物金利スワップ(便宜上、年一 回固定金利6%の受け取り、変動金利1年物LIBOR の支払いとする)、また、リスクファクターに 1年物し IBOR、2年物スワップレート、3年物スワップレー トを用いて、各確率のもとで算出したバリュー・アット ・リスクで表わされた損失額を具現化する将来3年間の LIBORの推移を表わすシナリオの検索例を、図2か ら図12を用いて説明する。

【0011】図2は、シナリオ検索装置100の処理フ ロー図である。

ステップ201:最初に、バリュー・アット・リスク算 出部101は、保有資産データ格納装置111に格納さ れている上述の保有資産データ300(図3参照)と、バ リュー・アット・リスク算出用データ格納装置112に 格納されているリスクファクター間の相関関係を表わす テーブルデータ400(図4参照), リスクファクターの 標準偏差を表わすテーブルデータ500(図5参照), B PVを表わすテーブルデータ600(図6参照), 確率分 バリュー・アット・リスク結果格納部114,シナリオ 50 布に従い、信頼区間を表わすテーブルデータ700(図

7参照)を読み込み、図14に示す計算式(1)に従って、51%から99%の間で1%刻みの確率毎にバリュー・アット・リスクを算出し、これから、図8に示す如き、バリュー・アット・リスク算出結果テーブル800を作成し、バリュー・アット・リスク結果格納部114に格納する。

【0012】ステップ202:次に、シナリオ・シミュレーション算出部102では、保有資産データ格納装置111に格納されている保有資産データ300と、シナリオデータ格納装置113に格納されている、図9に示 10す如き、将来の特定時点における変動金利などの将来のキャッシュフローを特徴づける項目からなるシナリオデータ900とを読み込み、図15に示す計算式(2)に従って、シナリオデータ毎に金利スワップの損益を算出し、図10に示す如き、シナリオ・シミュレーション算出結果テーブル1000を作成し、これを、シナリオ・シミュレーション結果格納部115に格納する。

【0013】ステップ203:次に、シナリオ検索部103は、バリュー・アット・リスク結果格納部115に格納されているバリュー・アット・リスク算出結果テー20ブル,検索条件設定および検索結果表示装置121から利用者によって設定された、図11の設定画面1100に示す如き、検索対象資産1101などの検索対象を識別する項目および利用者が検索したい確率範囲1102などの検索条件を示す項目で構成される検索条件1000を読み込み、利用者が設定した検索したい確率範囲1102の上限と下限に対応する、検索対象資産と資産Nののバリュー・アット・リスクを図8に示すバリュー・アット・リスク算出結果テーブルから参照し、検索条件設定および検索結果表示装置121に表示する。30

【0014】ステップ204:シナリオ検索部103は、更に、シナリオ・シミュレーション結果格納部116に格納されているシナリオ・シミュレーション結果テーブルを読み込み、検索条件1000で設定された検索対象資産と資産NOについて、図8におけるバリュー・アット・リスク算出結果テーブルを基に確率n%(n=52~99)におけるバリュー・アット・リスクで表わされる損失額より小さく、n-1%におけるバリュー・アット・リスクで表わされる損失額より大きい損益をもたらすシナリオ名を、図10のデータから参照し、該当するシナリオ数を勘定し、更に、各確率と該当するシナリオ名との対応を表わす図12に示す如きシナリオ検索結果テーブル1200を作成し、シナリオ検索結果を納装置116に格納する。

【0015】ステップ205:また、シナリオ検索部1 保有期間中に取引毎に発生する損益額を算出して、シナ03は、ステップ204で作成した、図12に示す如き リオと前記損益額の対応を表わすデータを作成し、前記シナリオ検索結果テーブル1200の中から、ステップ データの集合を用いて、各確率のもとで先に算出したバ203で読み込んだ検索条件1000で設定された検索 リュー・アット・リスクで表わされる損失額を顕在化さ対象資産1101および検索したい確率範囲1102に 世るシナリオを検索し提供するようにしたため、ストレ該当するデータを抽出して、検索結果を、図13に示す 50 ス・テストの実施者が、バリュー・アット・リスクで表

如き、シナリオ検索結果表示画面1300として検索条件設定および検索結果表示装置121に表示する。

6

【0016】図13に示すシナリオ検索結果表示画面1300において、更に、利用者がシナリオ参照1301にシナリオ名を入力し、参照ボタンを押せば、シナリオ名に該当する、図9に示す如きシナリオデータを、検索条件設定および検索結果表示装置121に表示する。ボタン1304をマウス等によりクリックすることにより、該当シナリオ名1302および損益1303に表示されているデータを更新し、それまで表示されていなかったシナリオ名と前記シナリオ名に対応する損益を、順次表示する。

【0017】上記実施例によれば、バリュー・アット・リスクで表わされる損失額を顕在化させる将来のシナリオを、従来の如く、利用者がシナリオを設定し、前記シナリオを参照して利益額または損失額を算出し、バリュー・アット・リスクで表わされる損失額と比較し、適合しなければ再びシナリオを作り直して再びストレス・テストを実施するという試行錯誤に伴う作業を負うこと無しに、求めることが可能になる。

【0018】なお、上記実施の形態は本発明の一例を示したものであり、本発明はこれに限定されるべきものではないことは言うまでもないことである。例えば、上記実施例においては、本発明を、金利スワップを検索対象資産とし、更に、バリュー・アット・リスク算出に用いるリスクファクターを1年物LIBOR、2年物スワップレート、3年物スワップレートとして、LIBORの3年間の推移を表わすシナリオを例に挙げて説明したが、他の金融資産を検索対象に、また、リスクファクターに別の要因を用いてバリュー・アット・リスクを算出し、更に、シナリオで仮定する要因を別の項目にしても前記要因をもとに金融資産の損益を算出すれば、同様に実施することができる。

[0019]

【発明の効果】以上、詳細に説明した如く、本発明によれば、各確率のもとでの算出したバリュー・アット・リスクで表わされる最大損失額を顕在化させるシナリオを、試行錯誤に伴う負担を負わせることなく検索可能とする、シナリオ検索処理方法を実現できるという顕著な効果を奏するものである。より具体的に説明すれば、各確率のもとで金融派生商品を含む資産が保有期間中に被る最大の損失額を統計的に表示した指標であるバリュー・アット・リスクを算出し、更に、予め設定してある複数のシナリオを参照し、金融派生商品を含む保有資産の保有期間中に取引毎に発生する損益額を算出して、シナリオと前記損益額の対応を表わすデータを作成し、前記データの集合を用いて、各確率のもとで先に算出したバリュー・アット・リスクで表わされる損失額を顕在化させるシナリオを検索し提供するようにしたため、ストレス・テストの実施者が、バリュー・アット・リスクで表

わされる損失額を顕在化させる将来のシナリオを設定 し、前記シナリオを参照して利益額または損失額を算出 し、バリュー・アット・リスクで表わされる損失額と比 較し、適合しなければ再びシナリオを作り直してストレ ス・テストをやり直す試行錯誤の作業が不要になる。ま た、逆に、本発明による検索結果の各確率毎のシナリオ 件数の度数分布を見ることにより、予め保有してあるシ ナリオデータ群の傾向も、把握することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】実施例に係るシナリオ検索システムを示すブロ 10 ック構成図である。

【図2】実施例のシナリオ検索手順を示すフローチャートである。

【図3】保有資産のデータ例を示す説明図である。

【図4】バリュー・アット・リスク算出に影響を与える リスクファクター間の相関関係を表わすデータ例を示す 説明図である。

【図5】リスクファクターの標準偏差を表わすデータ例 を示す説明図である。

【図6】リスクファクターの値の変化に対する金融資産 20 価値の感応度であるBPVのデータ例を示す説明図である。

【図7】確率分布に従い確率51%~99%における標準偏差の倍数で表わされた信頼区間のデータ例を示す説明図である。

【図8】各確率におけるバリュー・アット・リスクの算 出結果を表わすデータ例を示す説明図である。

【図9】変動金利に関するシナリオデータ例を示す説明 図である。

【図10】実施警におけるシナリオ・シミュレーション 30 の算出結果を表わすデータ例を示す説明図である。

【図11】シナリオ検索設定の画面例を示す説明図であ

る。

【図12】バリュー・アット・リスクに対してシナリオを検索した結果を表わすデータ例を示す説明図である。

8

【図13】実施警におけるシナリオ検索結果を表示する 画面例を示す説明図である。

【図14】確率毎にバリュー・アット・リスクを算出する計算式の例を示す図である。

【図15】シナリオデータ毎に、金利スワップの損益を 算出する計算式の例を示す図である。

0 【符号の説明】

100 シナリオ検索装置

111 保有資産データ格納装置

112 バリュー・アット・リスク算出用データ格納装置

113 シナリオデータ格納装置

116 シナリオ検索結果格納装置

121 検索条件設定および結果表示装置

300 保有資産データ

400 リスクファクター間の相関関係を表わすテーブ ルデータ

500 リスクファクターの標準偏差を表わすテーブル データ

600 リスクファクターに対するBPVを表わすテーブルデータ

700 確率毎の信頼区間を表わすテーブルデータ

800 バリュー・アット・リスク算出結果テーブル

900 シナリオデータ

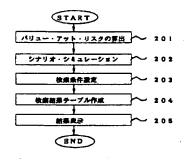
1000 シナリオ・シミュレーション算出結果テーブ ル

0 1100 検索条件設定画面

1200 シナリオ検索結果テーブル

1300 検索結果表示画面

[図3]



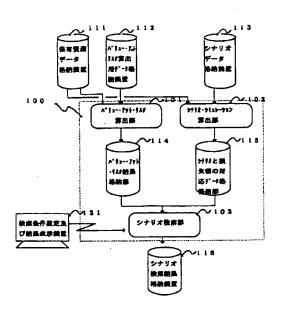
[図2]

			0 0	
全建海马拉莱		金利スワップ		A301
養金NO		19950514 &		
學定元本		1000		
双人会有		8 (%)		
文队金利		LIBOR(%)		
運動 t	1	2	3	
収入 hypzが Cis P ₁	6 0	50	1060	~302
支出 付か用- Cest P _t	1000 × LIBOR + 100	1000 × 1 1 1000 + 1 000	1000+(1000× 11800+100)	~303

【図5】

		/ 500	
リスクファクター!	1 年後 LINE	3年後ステップトート	3年417171-1-1
禁甲価息 で、	3. 0	2. 8	2. 4

【図1】



【図4】

				400		
相關條款		Y				
L	<u> </u>	L年数 LIBOR	2年的スアップレート	3年日スアップレート		
	1年数11302	1.0000	0. 3610	0, 2540		
x	2 年程ステップ トート	0. 3 8 2 0	1.0000	0. 1320		
Ш	3年程2777 }-}	0. 2540	0. 1320	1.0000		

【図7】

				700		
建率 2	61%	5 2 %	3 3 %	 97%	98%	00%
#(a)	0. 03	0.06	0. 08	 1. 89	2. 06	2. 33

【図8】

				800		
-	会別スツ	ップ				
養成NO	19960510	8				
被字 a	51%	5 2 %	5 2 %	 9 7 %	98%	99%
YAR(m)	0. 870	1. 460	2, 321	 	59,774	

【図9】

シナリオ名		シナリオミ		
果狗 t	. 1	2	3	
LIBOR R.	1. 50	1.20	1, 30	

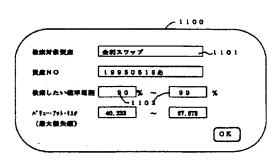
【図6】

リスクファクター1	1年物 LIBOR	2年後ステップトート	3年40,7777 1-1
BPV,	3. 2	5. 0	6. 1

【図10】

	1000ء ح
金融商品框架	金有スワップ
資金NO	19950516 &
シナリオ名	領益機
シナリオミ	-10.3
シナリオ2	-5.3
シナリオ3	-4.8
:	

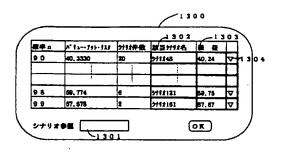
【図11】



[図12]

	. 200 ایر							
40	A*12171-125	分付件数	被当2778名	20.00	旅游分分名	製造		
51	0.870	350	2/1/21	D. 🚜	371128.	0.80		
5 2	1.450	347	211231	1.43	771142	1.42		
	L		<u> </u>					
		Ι						
98	59, 774	8	2112121.	59.75	2+1#12B.	59.12		
99	67, 678	12	2712151	87.57	7711528	66, 63		

【図13】



【図14】

【図15】

K、Lはそれぞれ最後の収入キャッシュフローまたは支出キャッシュフローが発生する最後の期間。